

日本社会福祉学会九州地域部会第 58 回研究大会

開 催 要 綱

<ごあいさつ>

社会福祉では 1960 年代以降「ノーマライゼーション」という概念で、個の多様性を尊重してきたが、今日では行政を中心とする「ダイバーシティ」という表現の広がりとともに、生活の様々な場面で個の「違い」に価値が見出されつつある。

他方で 1990 年代以降効率性や功利性を究極的な価値とする考え方が保健医療福祉そして教育とあらゆる面に浸透し「社会的排除」の問題を深刻化させている。「社会的包摂」という概念も経済的効率性、功利性というゴールに向けた一元的な道具として機能するのであれば、それによって却って多様なあり方が保障される社会から遠ざかってしまうように思われる。また、経済的効率性、功利性から排除された者は経済活動の周辺部に追いやられることを自明のこととして受け入れざるを得ない社会を肯定することになる。

本大会ではこうした現状認識に立ちつつ、「社会的包摂」の背後にある価値一元化の流れの対抗軸として、人種、性別、年齢、職業、障がい、性的指向等を超越する「多様」な価値を再発見し、それら多様な価値が日常的に保障されるために社会福祉に何ができるかについて考える機会とし、もって地域共生社会実現の布石としたい。

2017 年 1 月

第 58 回研究大会実行委員長 西島 衛治

日本社会福祉学会九州地域ブロック理事 本郷 秀和

○会場：玉名市民会館ホール

〒865-0016 熊本県玉名市岩崎 152-2 TEL：0968-73-5107

*当日は駐車場が混み合うことが予想されます。公共交通機関をご検討ください。

○資料の都合上、下記参加申込書の提出をお願いいたします。

参加申込書

申込者連絡先（メールまたは FAX にて送信をお願いします）

氏 名		所 属	
連絡先住所	〒		
電 話		FAX	
メール	@		

○FAX：0968-75-1874

○メール：jsswkyu@kyushu-ns.ac.jp

右記 QR コードをご利用ください。

